

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 京都市生涯学習総合センターの運営について

当施設は、市民レベルの生涯学習の推進のため、昭和56年に設置され、京都における生涯学習の中核的施設として、生涯学習の促進に向けた講座などを実施してまいりました。

### 施設の収入と支出

＜施設の利用料金と利用者数＞

ホールや会議室など利用スペースの面積を考慮しつつ、午前・午後・夜間に分けて利用料金を設定しています。

令和元年度の利用者数 387,344人

総額 3.5 億円

＜支出＞

利用者 1 人当たりの運営経費 900 円 (A)

管理・運営費 730 円	職員人件費 90 円	その他 80 円
-----------------	---------------	-------------

＜収入＞

利用者 1 人当たりの  
収入 50 円 (B)

総額 0.2 億円

(A) - (B)

総額 3.3 億円

利用料金 50 円 (6%)	差額 850 円 (94%) 市民の税金で負担 (公費で負担)
----------------------	------------------------------------

いずれも概数  
10 円単位で四捨五入

当施設をご利用の皆様から  
いただいた利用料金です

- 公費負担がない場合、当施設をご利用の皆様から、より高額の利用料金をいただくことが必要となります。
- 施設を利用しない方も含めた市民の負担 (公費負担) により、  
現行の利用料金で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担 (施設使用料等) と公費負担 (市民の皆様にご負担いただく税金) などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。